

2020年必修化に向け注目が集まるプログラミング！昨年は1500人がエントリー！
グローバルキャストの教育事業ブランド「G-VaLEd」主催
「第13回 子どもみらいグランプリ 2019」参加者一般公募開始！
「伝える」をテーマにしたプログラミング・ロボットプログラミング・CGイラストを募集
— 参加応募期間：2019年5月1日(水)～6月3日(月)まで —

株式会社グローバルキャスト(所在地:愛知県名古屋市中村区、代表取締役 川口 英幸)は、教育事業ブランド「G-VaLEd」(ジーバレッド)主催、名古屋市教育委員会後援にて、小学生・中学生向けのプログラミング・ICTスキルの全国大会「子どもみらいグランプリ2019」を開催いたします。2019年5月1日(水)～6月3日(月)にご応募いただいた中で、事前審査で選ばれた各部門上位の子どもたちが、7月15日(月)に愛知県名古屋市(ナディアパーク3F/デザインホール)で開催される全国大会に出場します。

2020年の小学校教育での必修化を受け、プログラミング教育への関心は年々高まっています。弊社は、教育サービスブランド「G-VaLEd」にて、子どもの将来の選択肢を拡げるグローバルな教育のための様々なサービスを提供してきました。子供向けICT教育に24年にわたって携わり、現在は、プレゼンテーションスキル教育・プログラミング教育をワンストップで提供する教室を全国に展開、コンテンツの開発を行っております。その実績が認められ、2018年には、名古屋市教育委員会の「学力向上サポート事業」の委託を受け、名古屋市立天白小学校にてプログラミング授業のサポートや導者への教育研修などを行いました。また、プログラミングに関わる親子や、先生に向けたメディア「バレッドプレス」は、始動から4ヶ月で月間読者数10万人を突破しております。

「子どもみらいグランプリ」は、2007年から始まって今年で13回目の開催となり、参加者は年々増加しています。昨年は、宮城県から沖縄県まで、各地から1500人が参加し、述べ2万人となりました。本大会は、プログラミングを通して子どもたちのITリテラシーや論理的思考力、創造力を育み、「子どもたちの可能性を最大化する」その一助となることを目的としています。

■イベント開催により期待する効果

- ・子供のICTリテラシー向上
- ・子供の論理的思考、創造力、表現力の向上
- ・子供のプレゼンテーション能力の向上

■審査員は子どもICT教育のスペシャリスト！

・藤井創氏

— 親子の好奇心を応援するメディア「VALED PRESS(バレッド)」編集長

・大澤文考氏

— たのしいプログラミング！マイクラキッズのための超入門(学研)著者

・公益財団法人 画像情報教育振興協会(CG-ARTS)



など



大会構成

アビバキッズ受講生

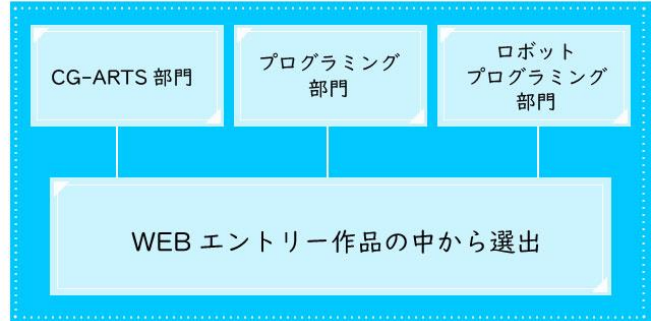
子ども向け ICT 教室「アビバキッズ」を受講されているお子様は、
全国9カ所で開催する地区大会から競い合います。



全国9カ所の地域で開催する地区大会での
各部門の上位入賞者は
子どもみらいグランプリ全国大会へ進出！

一般公募のお子様

アビバキッズの受講生ではないお子様は一般公募で競い合います。
作品をWEBエントリーいただき、事前審査し選出されたお子様を
全国大会で表彰します。



事前審査で選ばれた各部門の上位小・中学生各3名を
子どもみらいグランプリ全国大会で表彰！

子どもみらいグランプリ 全国大会

全部門合計参加者 **190名!**
各部門での上位入賞者を決定します



一般公募部門紹介

■CG-ARTS部門

テーマ「伝える」に沿ったイラストを作成

CG-ARTS 部門は、今年のテーマ「伝える」に沿ったイラストをペイント、Office (Word/Excel/PowerPoint) 各バージョンで作成していただく部門です。1992年に設立された公益財団法人 CG-ARTS 協会(シージーアーツ協会)様に色の使い方や構図や立体感など、CGの観点で優れているかに配慮して作品を選考、最終審査します。

■プログラミング部門

子ども向けプログラミング「Scratch(スクラッチ)」を使用

プログラミング部門は今年のテーマ「伝える」に沿って、MIT(マサチューセッツ工科大学)が開発した子ども向けプログラミング「Scratch(スクラッチ)」を使用してプログラミング作品を作成いただく部門です。

優秀者には後援いただいております、名古屋市教育委員会様より名古屋市教育委員会賞が贈られます。

■ロボットプログラミング部門

「スタディーノ」を使用したロボットプログラミング

ロボットプログラミング部門は今年の「伝える」というテーマで「日本のおもてなしが感じられる」ロボットをオリジナルで作成いただく部門です。ロボットプログラミングは「スタディーノ」を使用し、作成したロボットは2分動画(ロボットが動いている動画と一緒に作成者の声で説明を入れる)を YouTube にアップしていただきます。優秀者には後援いただいております、名古屋市教育委員会様より名古屋市教育委員会賞が贈られます。

応募要項

【募集内容】

■大会テーマ: 伝える

テーマに沿ったイラスト作成、プログラミング、ロボットプログラミング表現

※構成、制作共にオリジナル作品であること。

※同一部門の複数応募は不可

■部門

CG-ARTS 部門 / プログラミング部門 / ロボットプログラミング部門

【入賞】

各部門小学生 3 名、中学生 3 名(最優秀 / 優秀 / 第 3 位)

CG-ARTS 部門【CG-ARTS 賞】

プログラミング部門、ロボットプログラミング部門【名古屋市教育委員会賞】

【応募期間】

2019 年 5 月 1 日(水)～2019 年 6 月 3 日(月)まで

【応募作品形式】

サイト一般公募の各部門説明にてご案内(<https://www.aviva-kids.com/mirai-grandprix2019/>)

【応募方法】

2019 年 5 月 1 日(水)にご案内いたします、エントリーフォームからのご応募

※郵送でのご応募は受け付けておりません。

※記載内容に不備があった場合、審査対象外とさせて頂く場合がございますので、正確にご登録をお願いします。

【応募資格】

小学生、中学生の方ならどなたでも参加可能

(2019 年 4 月 1 日時点で小学校、中学校に在籍している方)

- ・同一部門の複数応募は不可(参加部門の制限なし)
- ・インターネット、電子メールを使用して文書のやりとりを行える方。
- ・個別応募(団体での応募は受付不可)
- ・応募フォームで個人情報の取り扱い、一般公募における応募要項に同意いただいた方
※なお、お送りいただいた作品は返却いたしませんのでご了承ください。

【受賞者へのお知らせ】

2019年6月27日(木)入賞者の方にはメールにてお知らせいたします。

また、同時にアビバキッズ公式サイト<お知らせ>にも結果をアップ <http://www.aviva-kids.com/>

【著作権について】

応募作品(入賞, 落選いずれの作品も含む。)の著作権(著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む)及び使用权は主催者に帰属します。

【主催】

株式会社グローバルキャスト

【グローバルキャストについて】

グローバルキャストはクライアント(企業)とマーケット(市場)を繋ぎ、マーケットへ、より豊かな暮らしを届け続ける「コンシェルジュテクノロジーカンパニー」です。みなさまの暮らしにテクノロジーを活用しながら豊かにする、コンシェルジュのような存在を目指します。

【会社概要】

会社名 : 株式会社 グローバルキャスト

代表者 : 代表取締役 川口英幸

設立 : 2008年2月20日

資本金 : 88,675,000円

事業内容 : 業種特化型 BPO サービス事業

└ダイレクトマーケティング

└コンタクトセンターソリューション

└多言語コミュニケーション

└デジタルマーケティング

教育・人財開発事業

所在地: 愛知県名古屋市中村区平池町 4-60-12 グローバルゲート 14F

URL: <http://global-cast.jp/>

【読者、一般のお客様からのお問い合わせ】

子どもみらいグランプリ運営委員 担当: 可児

TEL: 052-265-9282